

LinkedIn講師の旅費と経費のガイドライン

この文書は、すべてのLinkedIn講師に適用され、LinkedInでの録画に際して旅費が発生する場合の要件と所定の手続きを規定しています。

目的

講師が要件と手順を明確に理解できるようにすることを目的としています。

講師の責任

適時に経費の払い戻しを受けるには、以下に記載されているガイドラインに従ってください。

- ・経費の元の領収書が必要であり、経費報告書のコピーとともに、録画の最終日から60日以内に提出する必要があります。これらは LDC-Prod-Expenses@LinkedIn.com に送信してください。
- ・LinkedInは、これらのガイドラインに準拠しない経費を講師に払い戻す義務を負いません。
- ・これらのガイドラインに準拠しない経費は、払い戻しに時間がかかる場合や払い戻しの対象とならない場合があります。
- ・LinkedInは、録画の日程と承認された旅程内に発生した、承認された経費のみをお支払いします。

対象となるものとは？

重要: Carpinteriaキャンパスを訪れるすべての講師と訪問者の安全を考慮し、すべての出張は緊急時に対応が可能なBCD Travelチームを通して予約する必要があります。

航空/鉄道費

別の取り決めが事前承認されている特別な場合を除き、航空運賃はLinkedInから航空会社に直接支払われます。事前にプロデューサーと話し合ってください。

- ・すべての航空便/鉄道は、論理的に最安値のエコノミークラス/普通席で予約されます
- ・手荷物料金および航空会社/鉄道の食事費用は、通常の食事手当（以下「食事」で指定）内で取り扱います

次のような飛行機旅行費用は払い戻しできません。

- ・荷物の紛失または超過
- ・アップグレード - 講師の個人的な費用でのみ許可され、払い戻しはできません
- ・航空会社のメンバーシップ
- ・トラベラーズチェックおよび現金の紛失
- ・機器 - 携帯電話またはコンピューター機器 (海外出張をされる方: 海外出張中に発生した追加の携帯プランやSIMカードなどの料金は、払い戻しの対象にはなりません)
- ・Wi-Fi
- ・通話料、お土産、映画
- ・雑誌、書籍、新聞、個人的な読み物
- ・スパトリートメント、マッサージ、その他の施術
- ・講師以外の乗客への補償

ホテル/宿泊施設

直接請求が可能な推奨ホテルには、LinkedInから直接宿泊費が支払われます。**その他のホテルを選択する場合は、自己負担となります。LinkedInは全額の払い戻しを保証できないため、適格性を判断するにはプロデューサーに確認のコピーを送付する必要があります。

留意事項: 付帯費用 (以下のリスト参照) の支払いに使用される個人のクレジットカードの提供を求められる場合があります。ホテルをチェックアウトする際に、LinkedInに請求されることをフロントデスクで確認してください。

払い戻しできないホテルの費用は次のとおりです。

- ・部屋のアップグレード
- ・通常の食事手当の範囲を超えるアルコールやミニバーの使用料 (以下の「食事」に記載)
- ・通常の食事手当の範囲を超えるルームサービス料 (以下の「食事」に記載)
- ・ベビーシッターとチャイルドケア
- ・理髪師、美容師などの費用
- ・衣服費
- ・洗濯またはドライクリーニング料金
- ・映画/エンターテインメント費
- ・通話料

陸上交通費

レンタカー:

レンタカーはLinkedInが直接予約して支払いを行います。LinkedInがBCD Travelを通じてレンタカーを予約し、LinkedInの契約レンタカー代理店AVISで予約を確認します。**自分でレンタカーを予約することを選択した場合、費用は自己負担となり、全額の払い戻しは保証できません。

- ・レンタカーの費用は、LinkedInの録画期間に関連する旅行日に対してのみ払い戻し可能です。
- ・すべてのレンタカーは中間サイズ (またはリクエストに応じてそれ以下) になります。
- ・LinkedInのレンタカーパッケージには、LDW、賠償責任保険、燃料が含まれています。

次のレンタカー費用は払い戻しできません。

- ・車のアップグレード
- ・GPS
- ・交通、スピード違反、駐車券

その他の陸上交通費の払い戻しオプション:

- ・タクシーとライドシェアオプションでは、出発地と目的地を含む印刷された領収書があれば、基本料金が払い戻しの対象となります。（UberXまたはUber Poolは払い戻しの対象となりますが、UberSelect、UberBlack、UberSUVは対象となりません）
- ・空港の駐車料金は、日付の入った領収書があれば対象となります
- ・公共交通機関は、日付の入った領収書または切符があれば対象となります
- ・オフィスと空港間のシャトルサービス（サンタバーバラエアバス、ベンチュラ空港シャトルなど）
- ・注: リムジン は払い戻しの対象となりません。

走行距離による払い戻し

- ・講師は、LinkedInの旅行サービスでレンタカーを予約する代わりに、自分の個人用車両を使用する場合、走行距離による払い戻しの対象となります。**注:** 走行距離または燃料のいずれか払い戻しが可能ですが、両方は不可能です。
- ・往復で最大1000マイルの走行距離費用は、現在のIRS/CRAレートで払い戻されます
- ・払い戻しリクエストには、走行距離のデジタル地図の印刷物を含める必要があります
- ・合計1000マイルを超える往復には、録画前にLinkedInマネジメントから書面による承認が必要です
- ・LinkedInは、LinkedInの裁量で走行距離による払い戻しの代わりに、航空券の平均推定費用と置き換えることが選択できます。

食事代

録画の日程と事前承認された旅程で、1日\$75.00までの食費がLinkedInから支給されます。これには、最大15%のチップが含まれます。経費を申請する際には、明細領収書を提出する必要があります。

次のような費用は払い戻しできません。

- ・講師以外の人の食事代
- ・個人用品 - タバコ、雑誌、新聞、化粧品、過剰なアルコール
- ・個人用エンターテインメント - 劇場、映画、室内映画、スポーツイベント
- ・長距離通話料、託児料、ペットホテル費を含む、自宅不在時に発生する個人的な費用